

開拓使による 洋風建築技術 の受容と発展



明治初期ころ、開拓使が北海道で建設活動を行う際に、海外の建築を参考にしました。時代が経るにつれ、その成果が庶民の建築にも浸透していきます。

その過程やデザインの特徴を、札幌市内に現存する建物や、野外博物館北海道開拓の村の建物を事例に紹介します。

日時 2023年2月17日(金)
18:00~19:30
(開場17:30~)

講師 鈴木 明世氏
(北海道博物館 博物館研究グループ)

場所 札幌市豊平館 広間
(札幌市中央区中島公園1-20)

料金 無料

定員 60名(定員になり次第受付終了 申し込みは下記の連絡先となります)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止策のため、**事前に申し込まれていない方は聴講できません**

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、**急遽開催を中止する場合があります**

申込先 豊平館 TEL011-211-1951 (1月18日より受付開始 受付時間9:00~17:00)



主催 豊平館(指定管理者:一般財団法人北海道歴史文化財団)

連絡先 〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-20

TEL011-211-1951

アクセス・駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい

・地下鉄南北線「中島公園」駅3番出口より徒歩5分

・市電「中島公園通」電停より徒歩5分

【新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い】

- ・講座当日に平熱と比べ高い発熱や、咳・咽頭痛などの症状がある方は、ご参加をお控えください
- ・入館時に検温を行います。平熱と比べ高い発熱があると認められた際には、ご入館をご遠慮いただきます
- ・マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒にご協力ください
- ・会場内での会話はお控えください